4.溶剤・洗浄用途(開放系)

(1)対象ガス、GWP値

化学品審議会資料(B)【 (4)参照】では、GWP換算値のデータのみ公開されており、個別の物質の特定はされ気候変動枠組条約への報告データ(C)【 (4)参照】から判断して、ほぼ下記の物質のみの使用であると考えら

算定対象ガス GWP PFC-41-12 7,500 (注)GWP:百年積分値

(2)排出量算定結果 上段は、重量ベース値、下段はGWPベース値を示す

<u> </u>			160111		<u>- /J \ </u>		
単位\年次	1995	1996	1997	1998	1999	2010 固定	2010 計画
t	900	900	1,100	900	700	1,400	350
百万GWP t	6.8	6.8	8.3	6.8	5.3	10.5	2.6

(3)算定プロセス

1)排出量算定式

算定方法はIPCCガイドライン報告書(D)【 (4)参照】で示されている算定方法に準じている。 販売された溶剤・洗浄剤量 使用量とした。 設定する年次の前年のデータが無い場合(1994年)があるため、ここではn年次の使用量をn年次の排出量とし

施行令	算定式 【式中の番号は対応するパラメータ番号を示している。 2)参照】
四号ワ 五号ホ	排出量 = 係数 × 販売量

2)パラメータ(排出量算定式中の変数)

上段は、重量ベース値、下段はGWPベース値を示す。 ()内のアルファベット記号は、(4)の出典番号を示している。【 (4)参照】

使用量

化学品審議会資料では、全溶剤・洗浄剤に占めるPFCの使用量の割合などの基礎データが不明であるが、 PFC溶剤・洗浄剤使用率(PFC溶剤・洗浄剤の転換不可能なシェア)、PFC使用量(GWPベース値)は公開されてい したがって2010年のPFC溶剤・洗浄剤の転換不可能なシェア【参照】を乗じて2010年の製造時使用量を推計し

単位\年次	1995	1996	1997	1998	1999	2010 固定	2010 計画		
t	900	900	1,100	900	700	1,400	3	350	
設定根拠 (出典など)	実績値(A)					製造時使用量を推計するための全溶剤・洗浄剤に占めるPFCの使用量の割合など基礎データが不明であるため、、PFCメーカーの開放系用途の出荷量予測値(B)を用いた。	2010年固定値×(1 -)	
対策の内容	・漏洩防止(密閉系への転換) ・代替(低GWP、非フルオロカーボン系物質)								
対策の動向	・閉鎖系洗浄システムへの移行 ・PFC等を使用しない洗浄システムの開発・普及 ・代替物質への転換に関する普及啓発								

PFC溶剤・洗浄剤の転換不可能なシェア

単位\年次	1995	1996	1997	1998	1999	2010 固定	2010 計画
kg/kg	0.25	-	-	-	-	-	0.25
設定根拠 (出典など)	通産省推計値(A)					同左	経済産業省推計値(B)
対策の内容	・漏洩防止(密閉系への転換) ・代替(低GWP、非フルオロカーボン系物質)						
対策の動向	・閉鎖系洗浄システムへの移行 ・PFC等を使用しない洗浄システムの開発・普及 ・代替物質への転換に関する普及啓発						

(4)出典

出典番号	出典名	作成主体	作成年
А	第7回化学品審議会地球温暖化防止対策部 会資料	経済産業省	2000
В	第5回化学品審議会地球温暖化防止対策部 会資料	経済産業省	1998
С	気候変動枠組条約事務局報告データ	経済産業省・環境省	毎年作成
D	IPCCガイドライン報告書	IPCC	1996